



国土交通省

国土交通省 千曲川河川事務所

Chikumagawa River Office
kuriku Regional Development Bureau
Ministry of Land
Infrastructure, Transport and Tourism

【取り扱い】 本資料の発表をもって解禁

記者発表資料
令和元年9月5日

されきがわら

千曲川本来の「砂礫河原」再生を目指して！

千曲川では外来植物「ハリエンジュ」や特定外来生物「アレチウリ」が河川内に繁茂し、千曲川本来の「砂礫河原」が大幅に減少し、生物多様性の低下、河川管理の妨げ等が問題となっています。

このため、千曲川河川事務所では検討会を開催し、学識者や関係自治体等から意見を聴取しながら、砂礫河原再生のための掘削工事を行っているところです。

この度、この検討会を下記の通り開催しますのでお知らせします。

記

■ 第9回砂礫河原再生検討会

日時： 令和元年9月10日（火）14時00分～16時00分

場所： 千曲川河川事務所 2階大会議室

委員： 別紙委員名簿のとおり

- 内容： ①これまでの検討結果の概要について
 ②モニタリング調査について
 ③坂城町南条地区の掘削計画について
 ④今後の予定

その他： 報道機関のビデオ・写真撮影は冒頭から挨拶までが可能です。
 なお、会場の都合により一般の方の傍聴はできません。

配付資料：（参考）千曲川本来の砂礫河原の保全・再生に向けた取り組み
 以上

【配布先】

- ・長野市政記者クラブ
- ・長野県庁会見場
- ・長野市政記者会
- ・日本工業経済新聞社 長野支局

【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局
 千曲川河川事務所 026(227)7611
 副所長（技術） 吉田 俊康（よしだとしやす）



千曲川河川事務所フェイスブック

検索

クリック



国土交通省

千曲川河川事務所

検索

クリック

<http://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/>



開催場所



千曲川中流域砂礫河原保全再生検討会 委員名簿

令和元年9月

平林 公男	信州大学繊維学部 教授(座長)
島野 光司	信州大学理学部 准教授
豊田 政史	信州大学工学部 准教授
笠原 里恵	信州大学理学部附属湖沼高地教育研究センター 助教
北野 聡	長野県環境保全研究所自然環境部 主任研究員
瀬崎 智之	国土技術政策総合研究所河川研究部河川研究室 主任研究官
傳田 正利	国立研究開発法人土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター 水災害研究グループ 主任研究員
吉川 達也	長野県建設部河川課 課長
渡辺 ゆかり	長野県環境部水大気環境課 課長
小林 正明	長野市建設部 部長
小根澤 英児	千曲市建設部 部長
宮下 和久	坂城町建設課 課長
藤澤 純一	上田市都市建設部 部長
吉池 富夫	更埴漁業協同組合 代表理事組合長
松田 耕治	上小漁業協同組合 代表理事組合長
依田 清二	長野県養蜂協会長野支部 支部長
木村 勲	北陸地方整備局千曲川河川事務所 所長

(事務局)千曲川河川事務所 調査課

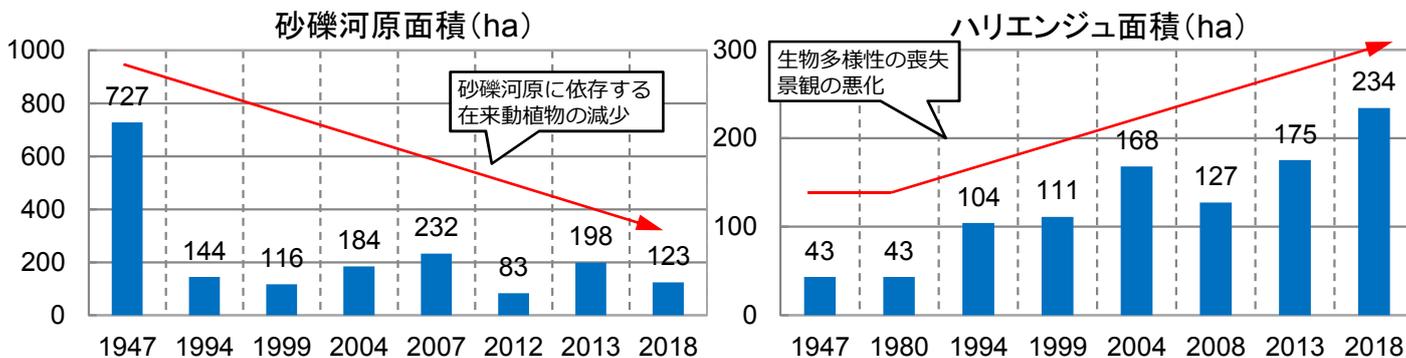
千曲川本来の砂礫河原の保全・再生に向けた取り組み

河川環境の現状と課題

かつての千曲川中流域の河川空間は、瀬・淵のある多様な流れの中に砂礫河原が広がり、砂礫河原に依存する生物の生息・生育空間となっていました。

しかし、河道内の砂利採取などの影響により河床低下が生じ、流路が固定化され、低水路と高水敷の比高差が拡大したことで高水敷の冠水頻度が減少しました。

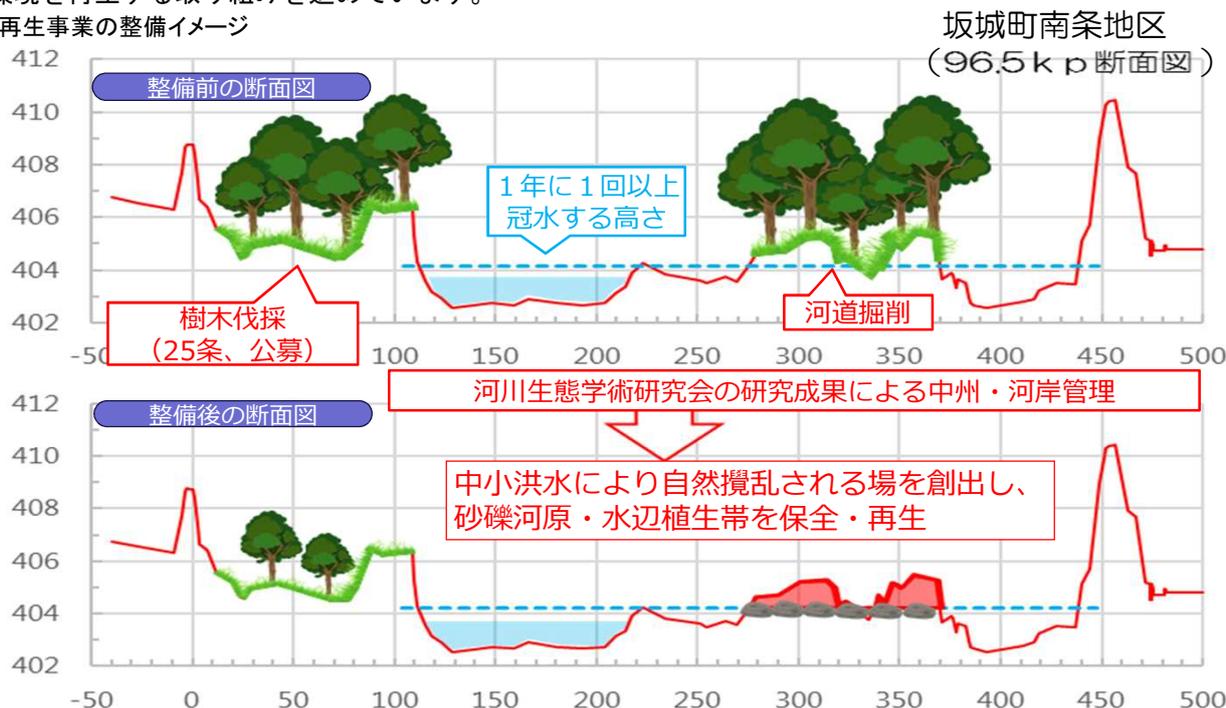
これらにより、外来種であるハリエンジュやアレチウリが増加し、砂礫河原特有のコアシサシやコチドリ、イカルチドリなどの鳥類やカワラヨモギなどの植物が減少しています。



砂礫河原の保全・再生

千曲川らしい砂礫河原に再生するため、自然再生事業として高水敷を切り下げ、中小洪水による自然攪乱や冠水が起こることによって、砂礫河原の再生・保全や外来植物の侵入繁茂を抑制し、これまでに失われた千曲川本来の自然環境を再生する取り組みを進めています。

◆自然再生事業の整備イメージ



◆平和橋上流における自然再生事業

